

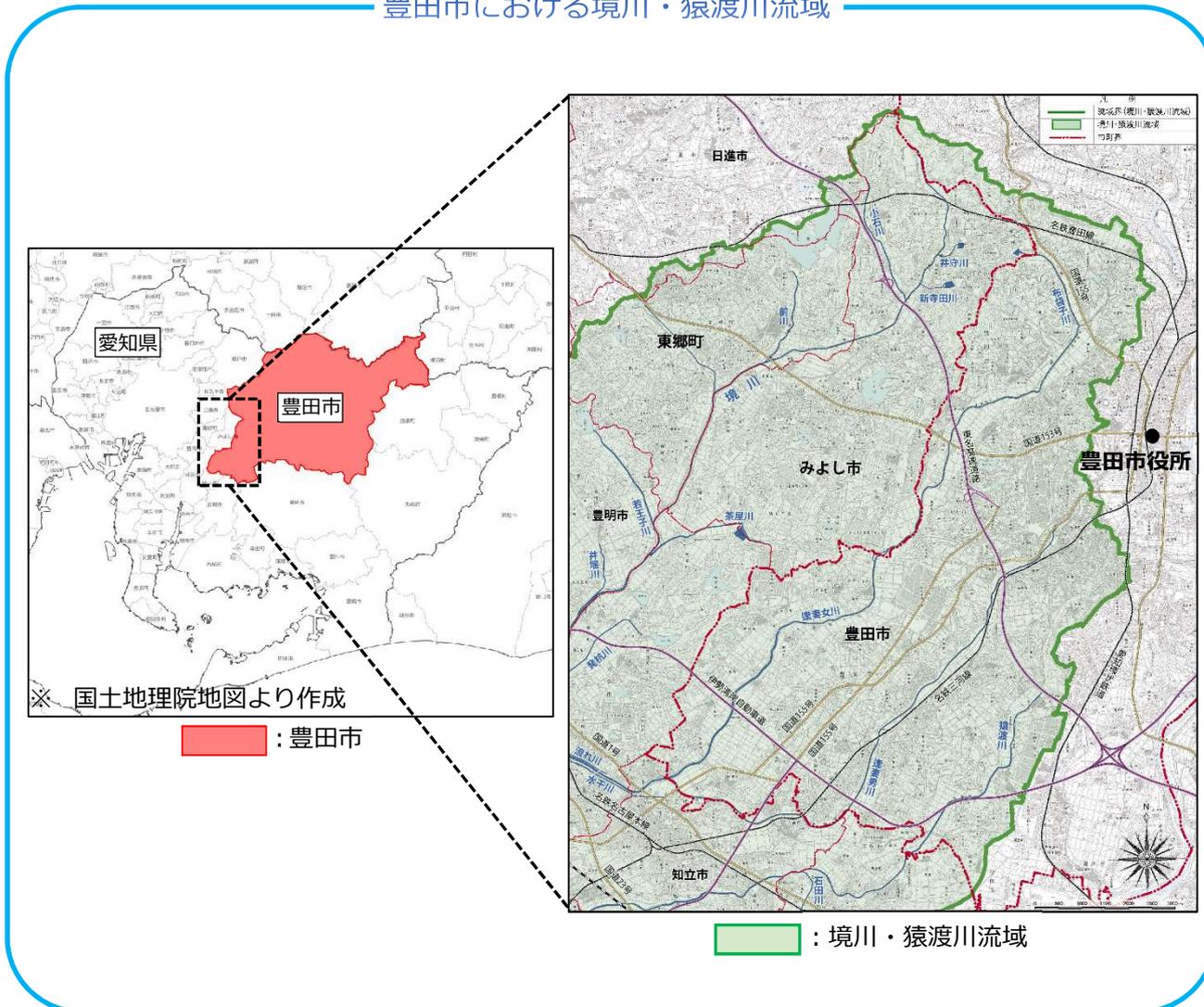
豊田市の取組み

1 はじめに

二級河川境川流域は、市域の約6% (57 km²) を占めており、豊田市内には逢妻男川、逢妻女川など4河川があります。境川流域は、流域の都市化が著しく、河川を改修する治水対策のみでは浸水被害の防止を図ることができないことから、昭和57年から総合治水対策を実施しています。また、平成26年には「境川・猿渡川流域水害対策計画」が策定され、河川管理者が河川を整備するだけでなく、流域内すべての市町が協力して水害に強いまちづくりを目指すこととしました。

豊田市においても浸水被害を軽減させるために様々な取組みを実施していますが、ここでは、農業用ため池を改修し洪水調節機能を持たせる事業（流域貯留施設整備事業）を紹介したいと思います。

豊田市における境川・猿渡川流域



2 流域貯留施設整備事業

豊田市には農業用の水を貯めておくため池が数多くありますが、その中からいくつかの池をピックアップし、洪水調節機能を持たせる事業を行っています。洪水調節機能を持たせることにより、雨を一時的に貯めることができるようになるため、下流河川への負担及び周辺の浸水を軽減することができます。(河川への負担が減ると、河川はあふれにくくなります。)

豊田市では境川・猿渡川流域水害対策計画が策定された平成26年以前から、ため池等を改修する事業を行ってきました。古くからは昭和62年から始まり、昭和63年には、道願池というため池で7,125m³の雨を貯めることができるようになりました。平成26年以降は、境川・猿渡川流域水害対策計画に基づき、合計で54,000m³の雨を貯めることを目標とし、ため池等の改修を行っています。

豊田市で改修してきたため池たち

設置年度	所在地	池等名称	調整方法	整備期間	対策量 (m ³)	河川名
S 6 3	白山町	道願池	ため池改修	S 6 3～H 1	7,125	逢妻女川
S 6 3	中田町	高岡公園	平面切下	S 6 3	51,500	逢妻女川
H 1 1	栄生町	コプト池	ため池改修	H 6～H 1 1	13,000	逢妻女川
H 1 3	山之手	山之手小学校	地下貯留	H 1 3	1,000	猿渡川
H 1 4	三軒町	衣丘小学校	地下貯留	H 1 4	1,300	逢妻男川
H 1 4	宮町	丸藪池	ため池改修	H 1 2～H 1 4	12,200	逢妻女川
H 1 5	朝日町	朝日小学校	地下貯留	H 1 5	1,600	逢妻女川
H 1 7	田町	小清水小学校	地下貯留	H 1 7	1,400	逢妻女川
H 1 7	新町	長迫池	ため池改修	H 1 6～H 1 7	4,000	逢妻女川
H 1 7	美山町	美山小学校	地下貯留	H 1 7	1,600	逢妻女川
H 1 9	宮上町	峠池	ため池改修	H 1 8～H 1 9	3,000	逢妻女川
H 2 2	丸根町	八ツ谷池	ため池改修	H 2 0～H 2 2	7,000	逢妻女川
H 2 9	田中町	頭本池	ため池改修	H 2 4～H 2 9	8,700	逢妻女川
R 2	本田町	白沢池	ため池改修	H 3 0～R 2	13,100	逢妻女川
R 4	本新町	米田池	ため池改修	R 3～R 4	9,500	逢妻女川

3 改修したため池の紹介

3-1 丸藪池（まるやぶいけ）

丸藪池は豊田市宮町に位置し、丸藪池から出た水は二級河川逢妻女川に流れ込みます。改修工事は平成12年から平成14年までの3か年で行われ、農業用の水とは別に、12,200m³の水を貯めることができるようになりました。また、下の写真のように、池の周りに散策路を設置することで親水性にも配慮しています。



位置図



丸藪池に生息する生き物

Point
ただ無機質に改修するのではなく、元ある自然により親んでもらえるよう、周回路や散策路を整備



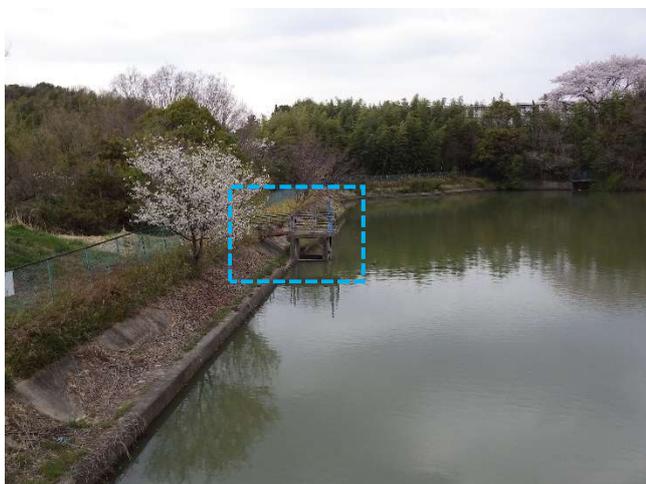
整備した余水吐の様子



散策路の様子

3-2 頭本池（かしらもといけ）

頭本池は豊田市田中町に位置し、頭本池から出た水は丸藪池と同じく二級河川逢妻女川に流れ込みます。改修工事は平成24年から平成29年までの5か年で行われ、農業用の水とは別に、8,700m³の水を貯めることができるようになりました。頭本池は、境川・猿渡川流域治水計画で定めた54,000m³の内、8,700m³を担っています。



施工前の洪水吐の様子



位置図

Point

新たにオリフィス（長方形の穴）を設置。
水が出る量はオリフィスで絞られる（調節される）
ため、池に水を貯めることができる。

→ 下流河川への負担及び周辺の浸水を軽減



施工中の洪水吐の様子

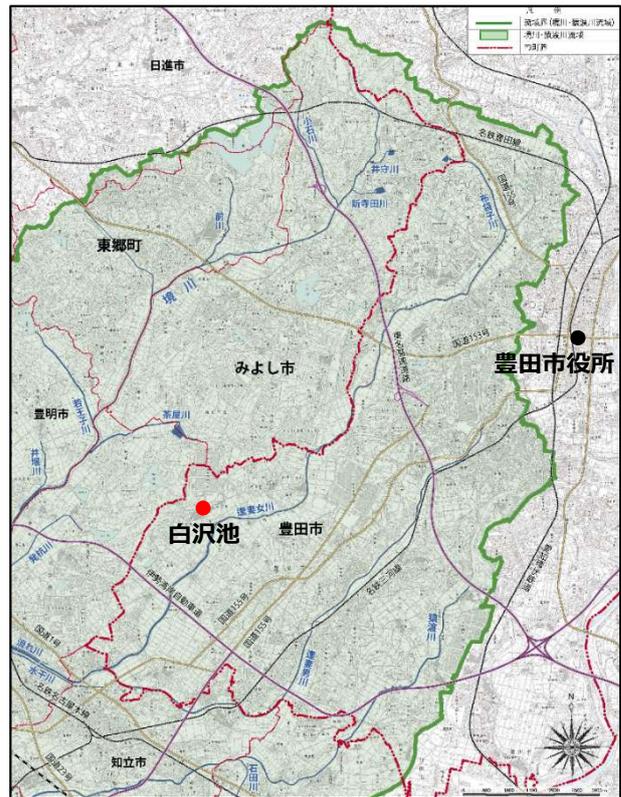
堤体を切り開いて新たな躯体を敷設している。



施工後の洪水吐の様子

3-3 白沢池（しらさわいけ）

白沢池は豊田市本田町に位置し、白沢池から出た水は丸藪池、頭本池と同じく二級河川逢妻女川に流れ込みます。改修工事は平成30年から令和2年までの3か年で行われ、農業用の水とは別に、13,100³の水を貯めることができるようになりました。白沢池は、境川・猿渡川流域治水計画で定めた54,000³の内、13,100³を担っています。



位置図



施工後の様子（下流を臨む）



施工前の様子（洪水吐設置前）



Point

管理用通路を兼ねた周回路を整備。木や竹を伐採し、池をぐるりと一周歩けるようにした。見晴らしもよく、散歩コースに最適。

4 おわりに

ここでは、豊田市が行っている取組みの一つである、流域貯留施設整備事業を紹介させていただきました。この事業は市内はもちろんのこと、市外の境川・猿渡川流域も含めて、浸水被害を軽減させるために非常に重要な事業です。このようにして、境川・猿渡川流域においては、流域の市町が協力して治水対策に臨む体制は昭和57年から構築されてきました。一方、気候変動の影響により激甚化・頻発化する水災害への対策は喫緊の課題であることから、令和3年3月に全国109の一級水系と12の二級水系において「流域治水プロジェクト」が策定され、あらゆる関係者が協働して治水対策を推進することとなりました。境川水系、猿渡川水系においても「流域治水プロジェクト」が策定されたことにより、これまでの協力体制をより強固なものとし、治水対策に取り組んでいきます。

皆さんには、工事などご不便をおかけすることもあります。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

●問い合わせ

豊田市役所 建設部 河川課

電話：0565-34-6672

FAX：0565-33-2460

メール：kasen@city.toyota.aichi.jp